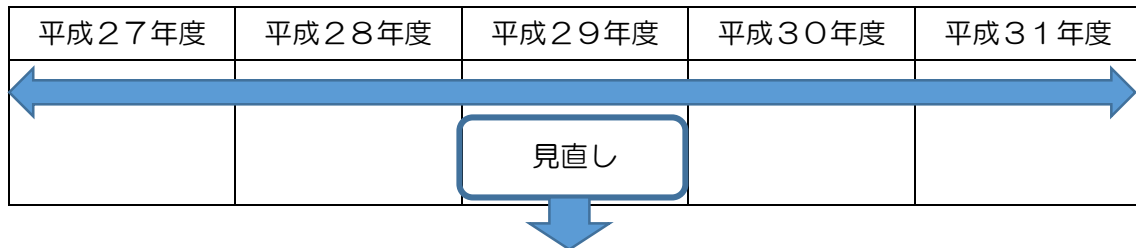


◎子どもをみんなで育む計画の中間年度の見直しについて

1 概要

本計画は、平成27年度から平成31年度までの5年間で1期として策定し、中間年度（平成29年度）に計画の見直しを適宜行うこととなっています。



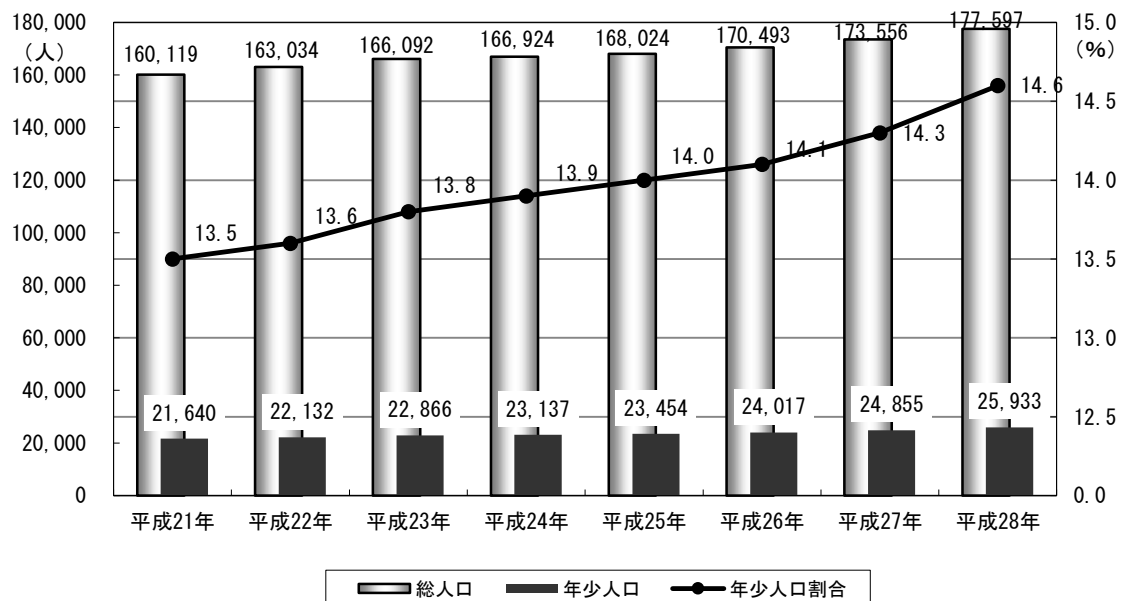
本市は、急激な人口増加や待機児童の増加により、中間年度で見直しを行う必要があると考えています。

2 流山市の現状

(1) 総人口と年少人口の推移

流山市の人口は、平成28年4月1日現在、177,597人と増加傾向で推移しています。また、年少人口（15歳未満）は、25,933人で、前年と比べて、1,078人増えています。

平成28年10月1日現在の人口は、179,083人となり、半年で1,486人増加しています。今後も、おおたかの森地区等の区画整理の進捗状況等の影響により、さらに、人口が増加していくことが予想されます。

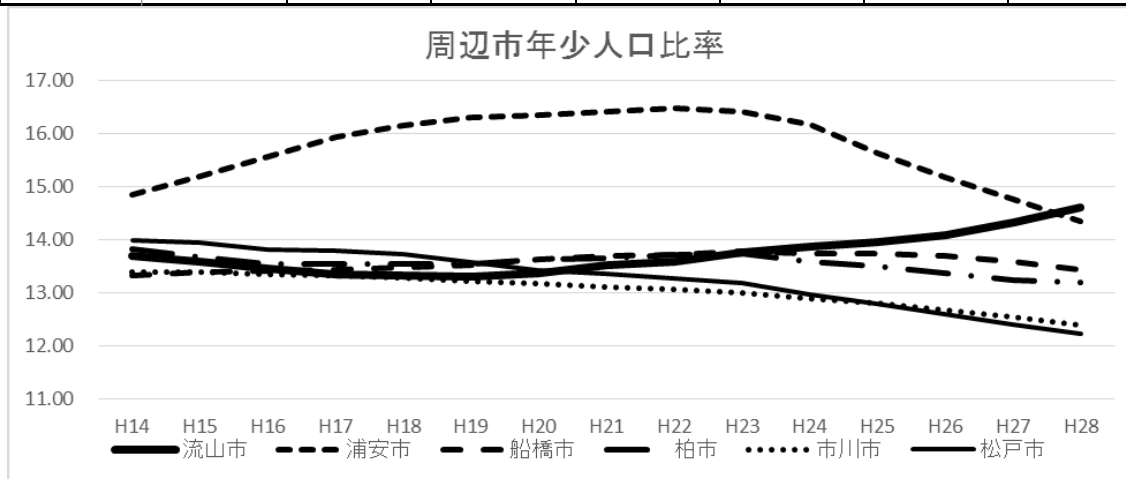


資料：千葉県 年齢別町丁別人口（各年4月1日現在）

＊周辺市年少人口比率の比較表

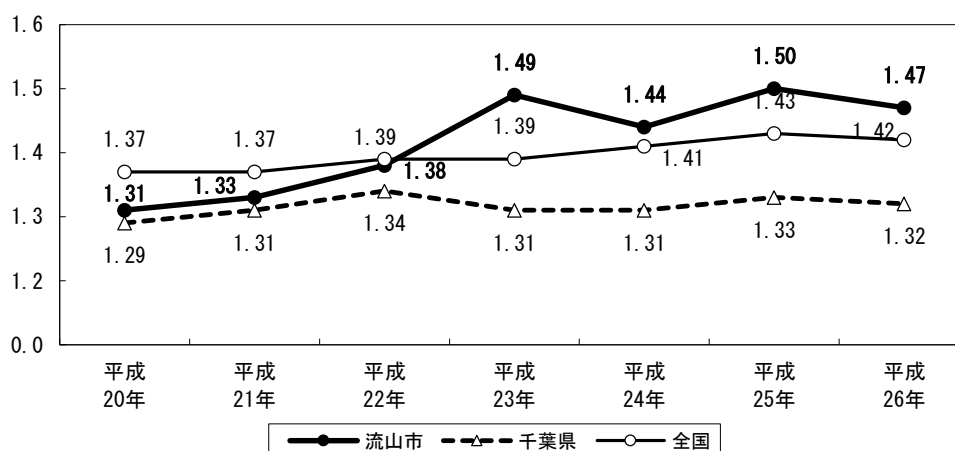
周辺市のいずれも、年少人口比率が年々減少傾向にありますが、本市は、右肩上がりになっています。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
流山市	13.58	13.77	13.86	13.96	14.09	14.32	14.60
浦安市	16.48	16.42	16.17	15.64	15.18	14.75	14.35
船橋市	13.72	13.77	13.73	13.73	13.68	13.58	13.42
柏市	13.71	13.74	13.59	13.50	13.36	13.24	13.19
市川市	13.05	13.00	12.89	12.81	12.67	12.54	12.39
松戸市	13.27	13.19	12.96	12.79	12.59	12.40	12.22



(2) 合計特殊出生率の推移

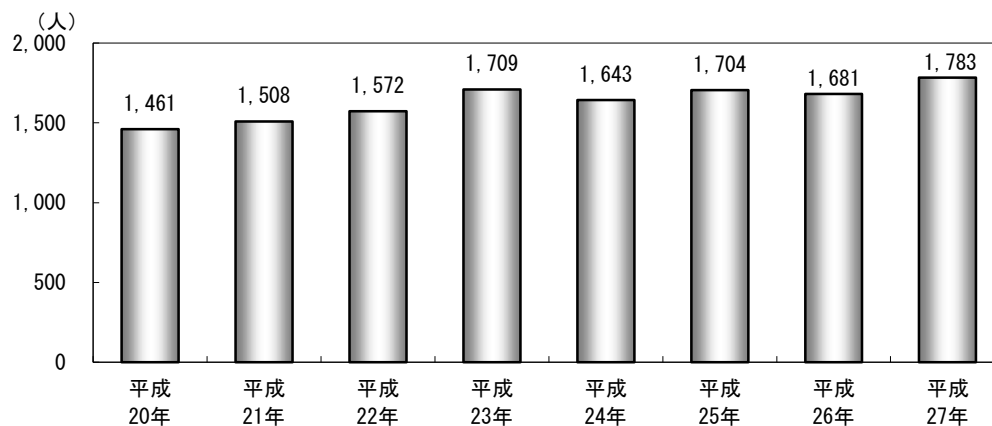
合計特殊出生率（女性が一生の間に産むと考えられる子どもの数）の推移をみると、平成26年は、1.47と前年より少し減少しましたが、依然として、県及び全国の数値を上回っています。



資料：千葉県人口動態統計（各年12月31日現在）

(3) 出生数

出生数の推移をみると、平成26年は減少に転じましたが、平成27年には、1,783人と再び増加し、前年度から比べると、102人も増えています。



資料：千葉県衛生統計年報（各年12月31日現在）

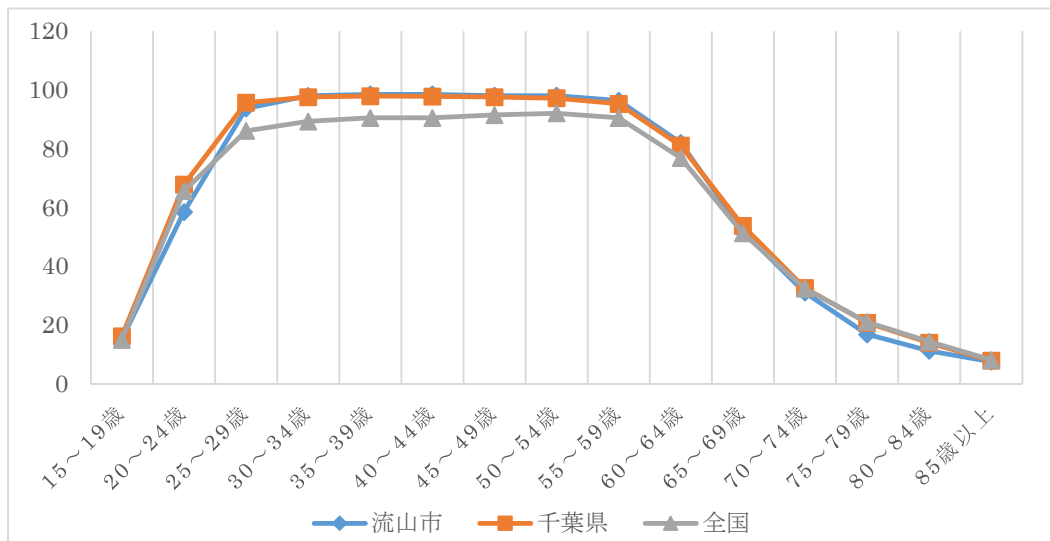
(4) 年齢別労働力率の推移と比較（男性）

国勢調査によると、平成22年時点の男性の労働力率は、主な子育て世代である30～40歳代では98%台となっており、平成17年時点の県・全国と比べると高くなっています。

単位：%

	流山市				千葉県	全国
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成22年	平成22年
15～19歳	13.3	14.1	16.4	15.2	16.2	15.0
20～24歳	62.7	57.3	56.2	58.5	67.8	65.6
25～29歳	96.1	92.9	89.4	93.7	95.7	86.1
30～34歳	98.3	96.0	93.7	98.0	97.6	89.3
35～39歳	99.0	97.0	94.9	98.5	97.9	90.5
40～44歳	99.0	97.6	95.6	98.5	97.8	90.5
45～49歳	99.0	97.4	95.9	98.1	97.6	91.5
50～54歳	98.8	97.5	95.8	98.1	97.2	92.1
55～59歳	97.9	96.2	94.5	96.4	95.3	90.5
60～64歳	82.1	74.3	74.9	82.0	81.1	76.9
65～69歳	55.6	45.8	47.5	52.0	53.8	51.3
70～74歳	34.1	25.4	27.9	31.1	32.6	32.4
75～79歳	24.1	17.2	17.3	16.9	20.8	21.1
80～84歳	12.9	12.8	10.8	11.3	14.0	14.4
85歳以上	3.1	5.4	6.4	7.6	7.9	8.2

資料：国勢調査（各年10月1日現在）



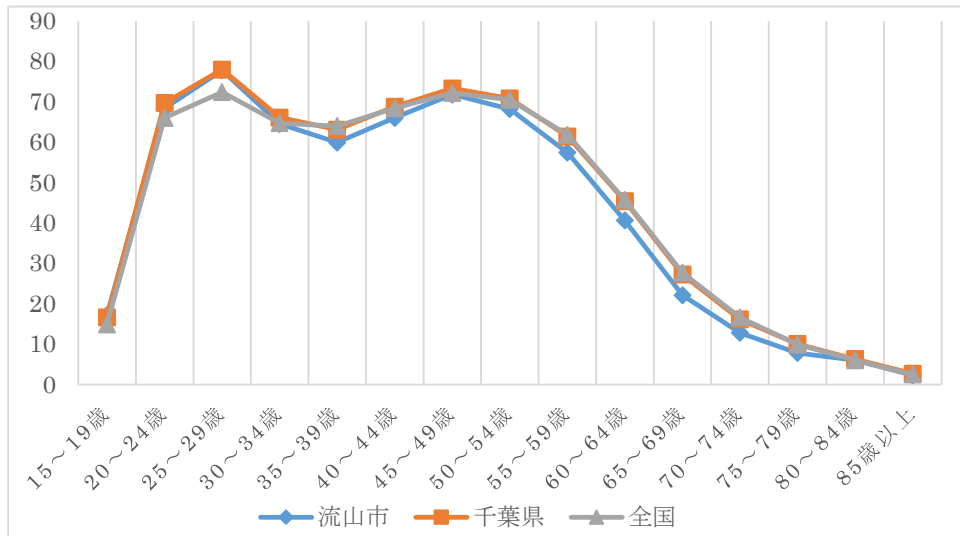
(5) 年齢別労働力率の推移と比較 (女性)

国勢調査によると、平成22年時点の女性の労働力率は、25歳～29歳までは77.8%と高水準ですが、主な子育て世代である30歳～44歳までは60%台と低くなっており、県及び全国でも同様の傾向にあります。

単位：%

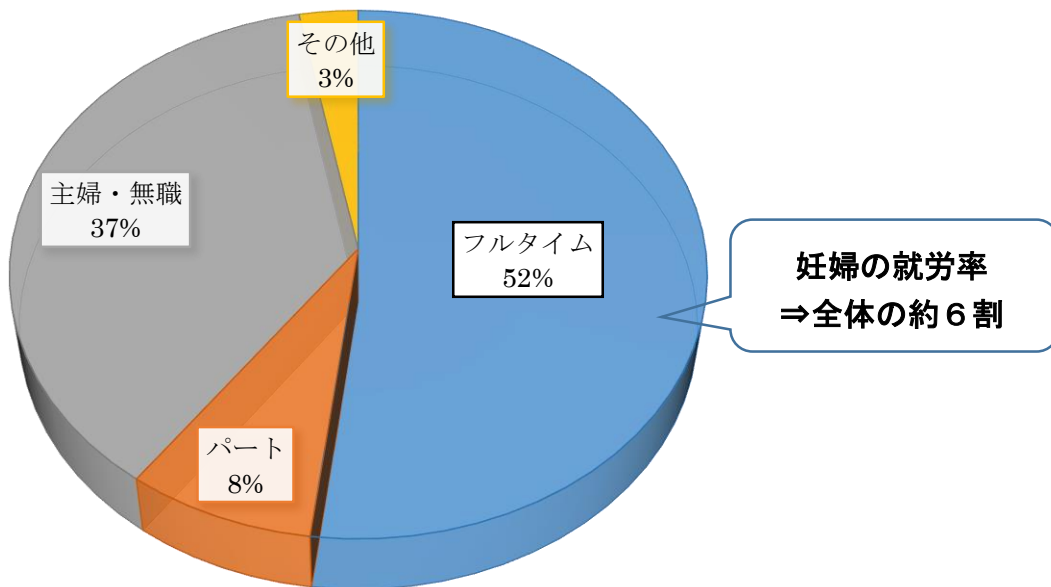
	流山市				千葉県	全国
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成22年	平成22年
15～19歳	12.0	13.7	17.4	17.2	16.6	14.9
20～24歳	70.2	66.9	64.3	68.4	69.7	66.0
25～29歳	64.9	70.0	72.9	77.8	78.0	72.4
30～34歳	43.3	49.5	57.9	64.5	66.1	64.7
35～39歳	46.4	49.7	54.7	59.9	63.1	64.0
40～44歳	56.6	57.9	64.3	66.0	68.8	68.4
45～49歳	59.5	62.0	68.6	71.8	73.3	72.2
50～54歳	55.7	56.3	61.6	68.2	70.8	70.5
55～59歳	46.0	46.2	51.0	57.4	61.4	61.8
60～64歳	28.7	29.7	31.3	40.6	45.4	45.7
65～69歳	17.8	15.4	18.7	22.1	27.2	27.7
70～74歳	12.0	10.1	10.3	12.8	16.1	16.6
75～79歳	6.3	7.3	7.2	7.8	10.0	9.9
80～84歳	3.6	3.8	4.8	6.0	6.3	6.0
85歳以上	1.1	2.1	1.4	2.3	2.7	2.5

資料：国勢調査（各年10月1日現在）



* 「年齢別労働力率の推移と比較」は、平成27年国勢調査の結果が、平成29年4月頃に公表される予定ですので、その際に更新します。

(参考) 流山市における妊婦の就労状況



(平成27年度妊娠届出書集計より)

(6) 認可保育所等入所児童数（小規模保育事業所含む）

認可保育所等入所児童数は、保育所数の増加に伴い、増加傾向で推移しており、平成24年度からみますと、1,278人の増加となっています。

（単位：人）

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
公立	入園児童数	699	573	562	553	557
	保育所数	5	5	5	5	5
私立	入園児童数	1,618	1,997	2,303	2,714	3,038
	保育所数	15	19	21	26	32
合計		2,317	2,570	2,865	3,267	3,595

各年度4月1日現在

(7) 認可保育所等待機児童数（国基準）

認可保育所等待機児童数は、平成28年度に大幅に増えています。

毎年度、保育所の整備をしているところですが、特に共働き世帯の増加や女性の就業形態の変化に伴い、保育ニーズは急激に高まっています。

（単位：人）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成24年度	3	38	27	10	3	0	81
平成25年度	6	22	13	14	1	1	57
平成26年度	3	47	8	8	2	0	68
平成27年度	3	30	10	4	2	0	49
平成28年度	8	99	28	9	2	0	146

各年度4月1日現在

(8) 幼稚園の入園児童数

幼稚園の入園児童数は、保育所に比べますと、緩やかな変化となっていて、平成24年度からは146人増加しています。（単位：人）

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
公立	入園園児数	57	57	61	57	57
	幼稚園数	1	1	1	1	1
私立	入園園児数	2,579	2,596	2,641	2,730	2,725
	幼稚園数	9	9	10	10	10
合計		2,636	2,653	2,702	2,787	2,782
幼稚園児数 （市民数）		3,157	3,142	3,222	3,229	3,259

各年度5月1日現在

(9) 学童クラブ（放課後児童健全育成事業）入所児童数

学童クラブの入所状況は、平成24年度から8か所の学童クラブを増設し、入所児童数も520人増加しています。保育ニーズと合わせて、今後も入所希望者が増加していくことが見込まれます。

(単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入所児童数	783	896	1,061	1,244	1,303
か所数	16	18	21	23	24

各年度4月1日現在

(10) 小学校・中学校の状況

在学者数の状況は、小学校、中学校とも増加傾向で推移し、保育所と合わせて、特に小学校児童数が急増しています。

(単位：人)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	児童数	8,823	9,004	9,237	9,565	9,950
	学校数	15	15	15	16	17
中学校	生徒数	3,807	3,907	3,912	4,042	4,150
	学校数	8	8	8	8	9

資料：学校基本調査（各年度5月1日現在）

2 計画の見直しにかかるスケジュール 別紙のとおり

3 見直し箇所

(1) 児童数（0～11歳）の推計【北部・中部・南部・東部】

(2) 量の見込みと確保方策

①教育・保育の量

②地域子ども・子育て支援事業

・放課後児童健全育成事業（学童クラブ）

・その他子育て支援事業

③障害児に対する障害福祉サービス

(3) 子育て関連事業（新規追加、廃止）